

くじらぐも

光村一年下

第三次指導 新出文字を中心にして まとめの学習 一時間扱い

一よむ 全文（順繰り読み「児童の音読」か 授業者の朗読のどちらでも可）
二とく

○ おさらい（前時の学習を振り返って）

① くじら雲もみんなも楽しかったので忘れていたのは何。（給食）

② そのことに気づいたのは誰か。（先生）

③ そこで、くじら雲は、どこまで送ってくれたかな。（ジャングルジム）

④ みんなが手を振ったときに聞こえてきたのは何かな。（チャイムとくじら雲の声）

◎ 承接（本時の学習につなぐ）

⑤ みんなと仲よしになれて嬉しかったくじら雲の帰り方はどんな風でしたか。

（元氣よく帰って行った）

⑥ 真似が好きなのは小さい子です。特に、優しいお兄さんやお姉さんの真似は大好きです。

真似をされて喜んだのは誰でしたか。（一年二組の子と先生）

⑦ くじら雲とみんなが、もっと仲よしになるのを助けてくれたのは何でしたか。

（風）

⑧ 「風」がいきなり吹いたのね。面白いお話には、不思議な力が隠れているのね。このお話も楽しいですね。

○ 手引き

〈指示〉 くじら雲の面白いところをもう一度考えるので、下の方に書いてある言葉をノートに書いて下さい。一行に一つずつ書く。下は空けておき、家庭学習に回す。

三よむ（本を見ながら黙読）

四かく（三よむと同時にノートに視写（弟） 板書（師）2、3、6に追加）

子どもたち

空

大きい

〈2 あいず 3 ごうれい〉

男の子

女の子

手

天

ジャンプ

〈6 うた〉

ジャングルジム

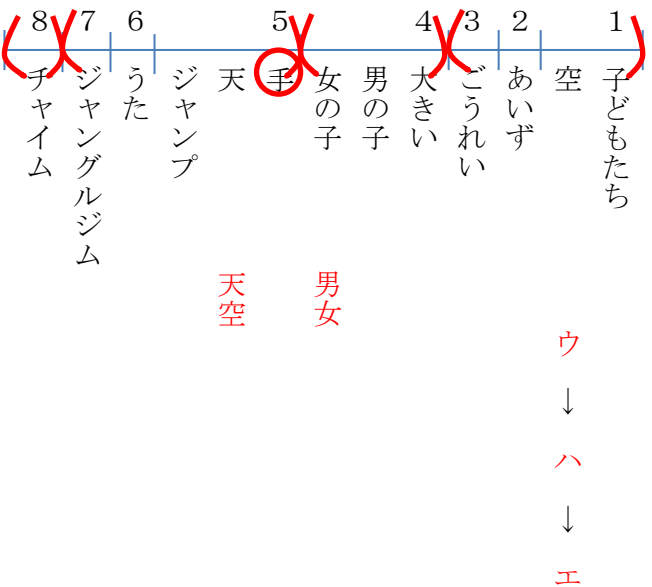
チャイム

五よむ（四かくで板書されたものを指黙読、指音読）

六とく

○ 文中の位置（書かれた言葉を区画に分ける）

- ① くじら雲とみんなが仲よしになったのは4番です。どの言葉が四番に書いてあったかな。
- ② 雲に乗れたのは、5番です。5に書いてあった言葉は、どれでしょうか。
- ③ 雲から降りたのは、何番でしたか。どの言葉で分かるかな。
- ④ 6番は「うた」で、8番は「チャイム」でした。声をかける前の1、2、3番はどれ。



◎ こもる力(字眼 利字 を考える)

- ⑤ このお話は、仲よしだから生れた。どの言葉が仲よしと結びつくかな。
(手：手をつなぐ)

- ⑥ 手をつないだのは、この中の言葉では誰かな。(男の子、女の子、子どもたち)
- ⑦ 先生も子どもたちも、どんなかな。(元気 体育好き きびきびしてる)
- ⑧ 子どもたちの元気なことが分かるのはどの言葉かな。
(大きい声で天まで ジャンプ 笛の合図 回れ右の号令)

- ⑨ 元気な皆を乗せたくじら雲は嬉しくなり、どうしたか。(空を海・村・町へ)
- ⑩ くじら雲バスに乗って嬉しくなった一年生の口から出てきたのは何。(歌)
- ⑪ その歌を聞いてくじら雲も楽しくなったという話。給食も楽しい時間になるね。

* この後は、新出文字を使って楽しむ。(時間が少なくなっているので、「二扱う」)

- ・ 空 : 筆順 ウ冠(カタカナのウ)(八：形が変わる)(エ：カタカナのエ)と考える。
上下に三つに分けられるので、上から下へと書くことを押さえる。
- ： 語彙増 天と空を合わせて「天空」と書いて見せて、何と読むかを問う。
男と女を合わせて「男女」と書いて見せ、何と読むかを問う。

○ 余韻 面白い話だなあ。面白いところを覚えよう。
七よむ (板書を指音読する)